

レゴラフェニブ（スチバーガ）の治療を受けた患者さんへ

地方独立行政法人大牟田市立病院では下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先まで連絡ください。

また、同意の有無が今後の治療などに影響することはありません。

研究課題名	切除不能進行肝細胞癌に対するレゴラフェニブ（スチバーガ）の有効性と安全性に関する前向きコホート研究
当院の研究責任者 （所属）	氏名：坂田 研二 （地方独立行政法人大牟田市立病院 消化器内科）
主管研究機関および 研究責任者	久留米大学医学部内科学講座消化器内科部門 教授 鳥村 拓司
本研究の目的	進行肝細胞癌に対するソラフェニブ（ネクサバル）治療後のセカンドラインにおいて、レゴラフェニブ（スチバーガ）の治療効果の評価、副作用の種類および出現頻度、薬剤の減量、中止基準を明らかにする。
調査データ 該当期間	2017年6月から2020年5月までの情報を調査対象とします
研究の方法 （使用する試料等）	●対象となる方 2017年6月～2020年5月までの間に肝細胞癌でレゴラフェニブ（スチバーガ）投与を開始した患者 ●利用する情報 電子カルテに記載のある診療記録、検査データを利用します （年齢・性別・生年月日・治療歴・血液検査データ・画像データ・有害事象）
試料/情報の 他の研究機関への提供	●提供先の機関および研究責任者名 久留米大学医学部内科学講座消化器内科部門 教授 鳥村 拓司 ●研究分担施設 ・久留米大学医療センター ・公立八女総合病院 ・朝倉医師会病院 ・久留米総合病院 ・九州医療センター消化器科 ・戸畑共立病院 ・社会保険田川病院 ・聖マリア病 ・ヨコクラ病 ・長田病院 ・佐賀中部病院 ・筑後市立病院 ・柳川病院・岩本内科医院 ・西日本病院 ・熊本セントラル病院
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さんを直接特定できる個人情報は削除致します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。
利益相反	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません
お問い合わせ先	地方独立行政法人大牟田市立病院 臨床研究管理室 電話：0944-53-1061（平日9時～16時）